

# 6 理科 単元の整理

やった分だけ合格が近くなる！  
花と実

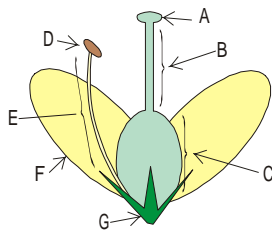
1 次の文の( )の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。

植物は子孫を残すために花を咲かせます。そこで①( )を作ります。花は目立つ②( )、花を支えつぼみを保護する③( )、花粉を作る④( )、花粉を受け取り、やがて実や種子になる⑤( )の4つの部分から成り立っています。これを花の四要素と呼んでいます。

①       ②       ③

④       ⑤

2 次の文の( )の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。



左の図は、花の作りを模式的に示したものです。Aの部分は①( )と呼ばれ、②( )を受け取る部分です。この部分を支えるBは③( )と呼ばれ、その下のCの部分につながっています。Cの部分は④( )と呼ばれ、⑤( )になる部分で、この中にやがて種子になる⑥( )があります。この、A・B・Cの部分に合わせて、⑦( )と言います。

Dの部分は⑧( )を作る部分で⑨( )と呼ばれます。Eの部分はDを支え、この部分を⑩( )と言います。D・Fの部分に合わせて⑪( )と言います。

Dの部分で作られた⑫( )が、Aの部分につくことを⑬( )と言います。Fの部分は⑭( )と呼ばれ、昆虫などを引きつけます。Gの部分は⑮( )と呼ばれ、つぼみを保護する働きがあります。

①       ②       ③

④       ⑤       ⑥

⑦       ⑧       ⑨

⑩       ⑪       ⑫

⑬       ⑭       ⑮

3 次の文の( )の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。

1つの花に花の四要素が全て揃っているものを①( )と呼んでいます。この四要素のうち1つでもたりない花を②( )と呼びます。たとえば、ヘチマの花では、おしべがたりない③( )花と、めしべがたりない④( )花の2種類があります。このような花は⑤( )であるといえます。それに対して、サクラやアブラナでは1つの花に花の四要素がそろっているので、⑥( )であるといえます。

①	<input type="text"/>	②	<input type="text"/>	③	<input type="text"/>
④	<input type="text"/>	⑤	<input type="text"/>	⑥	<input type="text"/>

4 次の文の( )の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。

1つの花に、おしべ・めしべの両方がそろっている花を①( )といいます。これに対して、おしべ・めしべのどちらか一方しかない花を②( )といいます。イネの花は、花の四要素のうち、花びらと③( )を持ちませんから、④( )花ですが、おしべ・めしべの両方が1つの花にあるので、⑤( )であるといえます。ヘチマの花では、おしべだけがある⑥( )とめしべだけがある⑦( )花があるので、花の四要素の1つがたりない⑧( )で、その上、おしべ・めしべの一方しか持たない花なので、⑨( )であるといえます。トウモロコシでは、雄花と雌花の区別があるので、⑩( )で、その上、それぞれの花には、花びら・がくがないので、⑪( )です。

①	<input type="text"/>	②	<input type="text"/>	③	<input type="text"/>
④	<input type="text"/>	⑤	<input type="text"/>	⑥	<input type="text"/>
⑦	<input type="text"/>	⑧	<input type="text"/>	⑨	<input type="text"/>
⑩	<input type="text"/>	⑪	<input type="text"/>		

5 次の文の( )の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。

アブラナの花には、花びら・がくがそれぞれ①( )枚ずつあり、おしべは②( )本、めしべは1本あります。この花には花の四要素がすべてそろっているので、③( )であるといえます。

①	<input type="text"/>	②	<input type="text"/>	③	<input type="text"/>
---	----------------------	---	----------------------	---	----------------------

6 次の文の( )の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。

おしべの先の①( )で作られた②( )は、色々な手段で③( )の先の④( )にたどりつきます。たとえば、黄色い目立つ花を咲かせるアブラナでは、⑤( )を遠くからひきつけることができます。近づいてきたものには、⑥( )のにおいでさらに引きよせ、花にたどりつかせ、体に⑦( )をつけて⑧( )の先の、⑨( )へと⑩( )を運んでもらいます。このように⑪( )によって⑫( )が運ばれる花を⑬( )と呼んでいます。これに対して、イネでは、目立つ花びらがありません。イネでは⑭( )によって⑮( )が運ばれます。このように、⑯( )で⑰( )が運ばれる花を⑱( )と呼んでいます。

①	<input type="text"/>	②	<input type="text"/>	③	<input type="text"/>
④	<input type="text"/>	⑤	<input type="text"/>	⑥	<input type="text"/>
⑦	<input type="text"/>	⑧	<input type="text"/>	⑨	<input type="text"/>
⑩	<input type="text"/>	⑪	<input type="text"/>	⑫	<input type="text"/>
⑬	<input type="text"/>	⑭	<input type="text"/>	⑮	<input type="text"/>
⑯	<input type="text"/>	⑰	<input type="text"/>	⑱	<input type="text"/>

7 次の文の( )の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。

花粉の運ばれ方には、イネのように①( )で運ばれる②( )や、アブラナのように③( )で運ばれる、④( )があります。ツバキやサザンカのように、⑤( )の活動できない寒い時期に目立つ花をつけるものでは、⑥( )によって花粉が運ばれます。このよな花を⑦( )と呼んでいます。

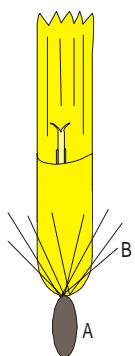
①	<input type="text"/>	②	<input type="text"/>	③	<input type="text"/>
④	<input type="text"/>	⑤	<input type="text"/>	⑥	<input type="text"/>
⑦	<input type="text"/>				

8 次の文の( )の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。

おしべの先の①( )から出た花粉が、②( )の先の③( )につくことを④( )と言います。⑤( )についた花粉からは⑥( )が⑦( )に包まれた⑧( )に向かって伸び、その中を⑨( )が移動し、⑩( )の中の⑪( )と一緒にあります。このことを⑫( )と言います。これによって、⑬( )は⑭( )へと成長を開始し、この部分を包む⑮( )は⑯( )へと変化していきます。

①	<input type="text"/>	②	<input type="text"/>	③	<input type="text"/>
④	<input type="text"/>	⑤	<input type="text"/>	⑥	<input type="text"/>
⑦	<input type="text"/>	⑧	<input type="text"/>	⑨	<input type="text"/>
⑩	<input type="text"/>	⑪	<input type="text"/>	⑫	<input type="text"/>
⑬	<input type="text"/>	⑭	<input type="text"/>	⑮	<input type="text"/>
⑯	<input type="text"/>				

9 次の文の( )の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。



タンポポの花は、小さな花がたくさん集まって1つの花を作っています。左の図はその1つの花を示したものです。花びらは1枚のようになっていますが、①( )枚の花びらがくっついて1枚になっています。このように、くっついて1枚になった花びらを持つものを、②( )と呼んでいます。このような花びらを持つ花は、ヘチマの仲間、ツツジの仲間、アサガオの仲間などがあります。図のAの部分が③( )で実になる部分です。またBの毛のようなものは④( )が変化したものです。このような花に対して、アブラナやサクラのように、花びらが1枚ずつに分かれているものを、⑤( )と呼んでいます。

①	<input type="text"/>	②	<input type="text"/>	③	<input type="text"/>
④	<input type="text"/>	⑤	<input type="text"/>		